

画論 The Best Image 2014 参加報告

社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 大須田恒一

優秀賞を頂きまして、12月14日にディスカッション・表彰式に参加してきましたのでご報告いたします。

10月7日に画論事務局より【重要なお知らせ】というタイトルのメールが届き、上位入賞を頂いたことを知りました。その時の嬉しさは今でも覚えています。症例名は肺腫瘍性病変（気管支動脈瘤）で、応募締め切りの2日前に検査施行した症例です。

肺動脈と肺静脈に挟まれるように気管支動脈瘤が存在し、術前に血管走行を立体的に把握することを目的に行った検査画像です。

私は昨年の表彰式を見学しており、上位入賞施設の熱意や会場の雰囲気を感じていたので、少しでも最優秀賞画像に近づけるようにと考えながら検査に臨みました。

しかし実際に自分で検査をしていると「創意工夫」は本当に難しく、自信を持って応募できる画像はなかなかありません。そんな中、締切り間近になってようやく決心し、画像を応募しました。

その画像がこのような評価を頂いたことは大変嬉しく思います。

見学と出席の差は大きく、ディスカッション会場に到着すると大変な緊張感に襲われましたが、北海道の受賞施設が多く心強かったことに救われました。無事に終わって今はほっとしています。関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

ディスカッションで拝見した上位入賞画像の「創意工夫」は、どの施設も素晴らしく、一緒に参加した執刀医と共に大きな刺激を受けてまいりました。今後の検査に活かしたいと思えます。

結果は最優秀賞とはなりませんでしたが、また挑戦を続けていきたいと考えています。

